

立命館大学

総合情報センターだより

2000年4月「立命館アジア太平洋大学」

大分県別府市に開学!



いよいよ本年4月に立命館アジア太平洋大学(APU)が大分県別府市に開学します。APUキャンパスのメディアセンターにはコンピュータ教室(CAI教室)やAPUライブラリーが設置されています。ライブラリーにはインターネットに接続したコンピュータがマルチメディアルームに設置され、24時まで利用できます。

立命館大学とAPUの両総合情報センターは、学術情報データベースの共同利用や資料の相互利用を進め、世界標準の学習・教育研究をサポートしていきます。

第89号

CONTENTS

2000年4月「立命館アジア太平洋大学」大分県別府市に開学!	表紙
電子図書館とデジタルアーカイブ — 副センター長 八村広三郎教授 —	2 3
就職活動に役立つホームページ	4 5
インターネットの情報検索の達人になろう! — ホームページ検索エンジンの活用方法 —	6
Desk Top Library活用のすすめ 多彩なコンテンツでワールドワイドな情報検索 — コアデータベースが拓く新しい図書館利用 —	7
インフォメーション(「新着情報」他)	8



電子図書館と デジタルアーカイブ



図書館部門と情報システム部門の統合による「新」総合情報センターの発足からまもなく2年になろうとしている。この新しいセンターは、将来の学術情報のサービス、いわゆる電子図書館機能の実現を視野に入れたものである。すでに、各種のコアデータベースの運用が本格化しているが、電子図書館の機能はまだ十分とはいえない。大学図書館におけるコンピュータ化は、目録業務などから始まり、インターネットによるOPACの公開、さらに、貴重書や古典資料などの学術資料のデジタル化へと向かっている。私自身は、この流れの行き着くところは、学術情報の「デジタルアーカイブ」機能の実現であると考えている。

アーカイブとは「公文書館」を意味する言葉で、元来は、さまざまな歴史的資料や文書などを保管することを目的とした施設のことを指している。デジタルアーカイブは、コンピュータによるデジタル技術を用いて資料の保存を行い、ネットワークを介してこれらの情報を共有し、利用しようとするものである。

失われてはならない貴重な文書などを「保存」しておこうというのがアーカイブの古い考え方であって、ここには「利用」という考え方はあまりみられない。しかし、現代的なアーカイブのイメージは、むしろ、今は何に役に立つのかわからないような雑多な資料や日常的な資料までも対象とし、これらを将来「利用」するために、きちんと整理して管理しようというものに変わりつつある。デジタル化がこれを促進している。対象としては、写真、絵画、古文書、地図、手紙などが中心となるが、音楽などの音響データ、舞踊などの芸能を記録した映像情報まで、さまざまなものが考えられている。

立命館大学総合情報センター

副センター長 八村 広三郎
(情報システム部門)

このデジタルアーカイブは、最近マスコミにもよく登場するようになってきた。しかし、日本のデジタルアーカイブ計画には、大きな問題がある。すなわち、これらの大多数がシステム主導であり、産業、特にコンピュータ産業からの視点に偏っていることである。資金を投入してシステム(ハコもの)を導入しさえすればよい、と取られかねないような姿勢も感じられる。

しかし、これでは、アーカイブとしてほとんど意味をなさない。対象となるデータは多岐かつ大量にわたるので、これらの性質や内容についての適切な記述データや、属性データを伴っていないければ、これらを検索し利用することはできない。このような、「データについてのデータ」はメタデータと総称されている。図書の書誌データやキーワードなどもひとつのメタデータの例である。このようなメタデータを作成するには、対象データを「分析」することが必須であるが、画像や古文書などの分析のすべてをコンピュータで自動的に行うことは、残念ながらほとんど絶望的であり、これは、対象データや領域についての十分な知識を持った専門家によって行われることが必要である。現在の日本のデジタルアーカイブ計画では、このような適切なデータ分析によるメタデータの重要性についての認識が欠けている。適切なメタデータのないアーカイブは、単なるゴミの山といっても過言ではない。

他方、日本では、図書館や博物館などの情報サービスの側の人たちにも問題がありそうだ。つまり、インターネットでの情報提供やメタデータの整備などについて、あまり積極的でないように見受けられる。先日、米国で開かれたICHIM99 (International Cultural Heritage Informatics Meeting 99) という国際会議に参加する機会を得た。ここには、博物館、美術館、図書館、アーカイブなどに所属するそれぞれのコンテンツに関する専門家たちが世界中から集まっており、会議のトピックの中心は、インターネットの積極的活用であり、このためのメタデータについての議論であった。

メタデータに関する概念については、日本では、おもに図書館情報学の分野で紹介がはじまっているが、アーカイブで対象とするような非図書資料との関連で語られることは、まだ非常に少ない。前述の会議においても日本からの貢献は全く見られなかった。今後、電子図書館を目指す図書館を中心とし、博物館、美術館などを巻き込んで、メタデータについての認識とあり方に関する議論が深まることを期待したい。

(理工学部教授)

電子図書館やデジタルアーカイブについて詳しく知りたい方は、以下の文献や資料を参照してください。

- ① 「特集：電子図書館」
“情報の科学と技術” 49巻6号、1999
- ② 「特集：メタデータ」
“情報の科学と技術” 49巻1号、1999
- ③ 「<http://www.archimuse.com/>」
ICHIM99など、アーカイブ関係の国際会議を主催している学会のホームページ
- ④ 「<http://mmc.unam.mx/cdwa>」
絵画などの非図書資料のメタデータを紹介したホームページ
- ⑤ 「<http://www.jdaa.gr.jp/>」
日本のデジタルアーカイブ構想について紹介したホームページ



就職活動に役立つホームページ

これからの就職活動は、インターネットや電子メールをどのように使いこなすかがポイントとなります。便利で役立つホームページはたくさんありますが、特によく使われているページを紹介します。

●ジョブウェブ●

<http://www.jobweb.ne.jp/>

業界別や地域別など、200以上のメーリングリストがある。

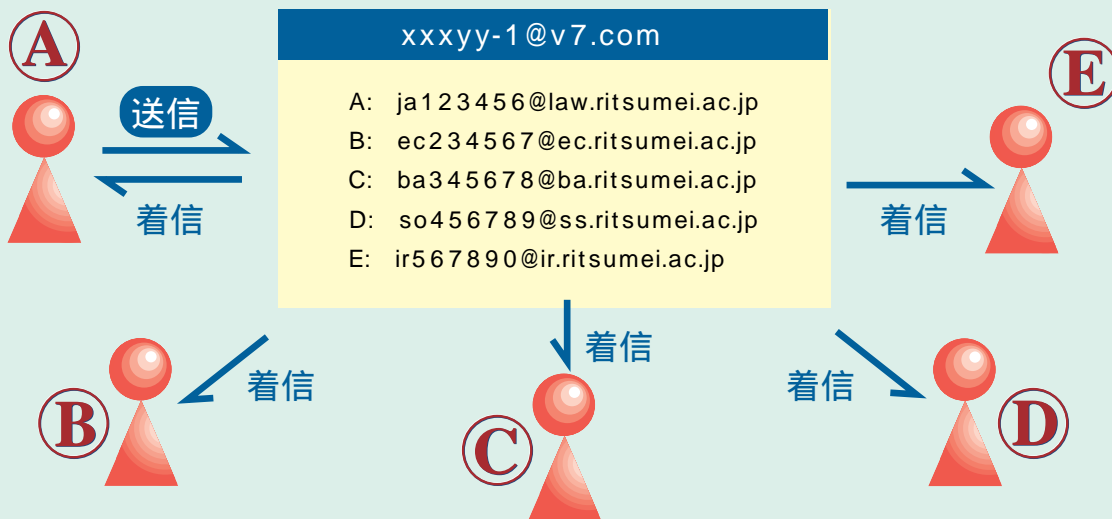
また、自分でメーリングリストを立ちあげることも可能。大学生だけでなく社会人も多数参加して就職活動や仕事に関する情報交換を行っているので、活動上の悩みについて先輩からアドバイスがもらえたりすることもある。



メーリングリストとは...

複数のメンバーで共有する電子メールアドレスのこと。1つのメールをメーリングリストに送れば、リストに登録したメンバー全員に同じメールが送られます。特定のテーマに興味のある人同士の情報交換、サークル・ゼミの打ち合わせなどのコミュニケーションを行う場合に用いられます。

* 例えばxxxyy-1@v7.comというメーリングリストにA～Eが登録している場合



「A」から「xxxyy-1@v7.com」へ送られたメールは「xxxyy-1@v7.com」に登録されている全員（A,B,C,D,E）へ同じ内容のものが送られます。



メーリングリストによって送られてきたメールにそのまま返信すると、相手だけでなく、リストに登録しているメンバー全員に返信されます。これを防ぐには、返信したい相手のメールアドレスで新規作成して送信します。

● リクルートナビ ●

<http://www.isize.com/RN/>



職種、事業内容、説明会の日程などさまざまなキーワードから企業を検索できる。就職活動に関するQ&A、業界研究、先輩の体験談コーナーなども充実。自分の活動履歴が管理できるリクナビ就職手帳も便利。



● みんなの就職活動日記 ●

<http://www.nikki.ne.jp/>

学生が掲示板で活動に関する情報交換をするページ。「ノンジャンル」のほか「金融」や「マスコミ」など業界ごとの掲示板もある。匿名による書き込みのため企業名は実名。かなり“本音度”は高い。



メーリングリストや掲示板での発言は、信頼できる情報もありますが、根拠のないうわさ話の温床となっているケースもあります。いかにも本当らしく見えて実は疑わしい情報が紛れている可能性もあります。情報があふれている分、真偽を見極める目が試されていると言えるでしょう。

ネットケツト (メールを使う上での注意事項)

- ・コンピュータの画面の向こうには、あなたと同じ「生身の人間」がいます。メールの文章が相手にどのように伝わるかをよく考えて文章を書きましょう。
- ・1バイトカナ文字(半角カナ文字)は絶対に使用しないでください。この文字を使っている箇所だけでなくそれ以降すべての表示が正しく行われず、メールの内容が正確に伝わりません。同じ理由で、Subject(標題)には日本語を使わないようにしましょう。
- ・文章の終わりには署名(氏名、所属、Eメールアドレス等)を必ず付けるようにしましょう。その際、自宅の住所や電話番号等の個人情報の記載は、悪用される可能性がありますので避けましょう。

例) 立命太郎

立命館大学法学部3年生

ja123456@law.ritsumei.ac.jp

* ネットケツトについてはRainbow Guide p.57を熟読してください。

インターネットの情報検索の達人になろう！

■ ホームページサーチエンジンの活用方法 ■

インターネットを使って自分が知りたい情報を検索する時に便利なツールが「サーチエンジン」や「検索エンジン」と呼ばれるものです。キーワードやジャンルを手がかりに、世界中のホームページの中から、自分の知りたい情報を見つけるために利用されています。

代表的な「サーチエンジン」をいくつかご紹介します。それぞれのサーチエンジンの特徴を利用して、使い分けてみませんか？ また、複数の「サーチエンジン」を利用する事で、情報の精度も高まります。

ヤフー <http://www.yahoo.co.jp/>

一番ポピュラーなサーチエンジンです。ジャンル別に分類されている事が特徴で、自分が探している情報のジャンル(カテゴリ)をたどる事で、目的の情報を得る事が出来ます。yahooに登録申請を行ったホームページのみが、検索の対象となります。

インフォseek <http://www.infoseek.co.jp/>

インターネット上で自動収集したデータを元に、入力されたキーワードに一致するホームページを、一番近いと思われる順に表示していきます。検索結果以外にも、キーワードに該当すると思われる関連のリンクをカテゴリ別に表示する便利な機能があります。

グー <http://www.goo.ne.jp/>

「日本語のページか海外のページか」「データタイプ」などの指定で、より細かいキーワード検索を行う事ができます。

● 使い方のポイント

検索条件を細かく設定する事で、知りたい情報により近い検索を行う事ができます。検索結果に対してさらにキーワードを追加することなどで、検索結果を絞り込む事もできます。

* 詳しい検索方法については、サーチエンジンによって異なりますので、各サーチエンジンのホームページを参照して下さい。

例) 京都のベンチャー企業について調べたい
(yahooを使って検索してみましょう)



検索キーワード(スペースで区切る)を入力して下さい。

京都 ベンチャー企業 [検索] [クリア]

検索条件

- 一つ以上のキーワードを含む (or検索)
- 全てのキーワードを含む (and検索)
- エキスパート検索
エキスパート検索活用術

検索結果の表示件数 [20] (1ページあたり)

① ポイントは、キーワードと、検索条件の指定です。検索条件の指定は、yahooトップページの検索語入力ボックス横にある「検索オプション」を選択します。

② キーワードは、「京都」と「ベンチャー企業」の2つに分けましょう。複数のキーワードで検索するときは、キーワード間をスペースで区切って入力します。探したい情報によって、検索条件を変えましょう。

検索条件

or検索

「京都」と「ベンチャー企業」のどちらかの語句を含むデータがすべて表示されます。検索結果が多くなるため、目的の情報を探し出すことが難しくなる場合もあります。

and検索

「京都」と「ベンチャー企業」のどちらの語句も含むデータが表示されます。

RAINBOWスタッフいち押しホームページ

<http://ekimae.toshiba.co.jp/Kansai/> (駅前探険倶楽部 <関西版>)

これからの時期、就職活動や旅行などで移動が多い人にオススメのホームページです。「乗り換え案内」メニューでは、乗車駅・下車駅と、出発あるいは到着時間を指定すると、行きたい場所までの交通機関や、乗る電車のダイヤまで教えてくれる優れもの。首都圏版もあります。(理工学部4回生)

(教育研究システム課)

多彩なコンテンツでワールドワイドな情報検索

■ コアデータベースが拓く新しい図書館利用 ■

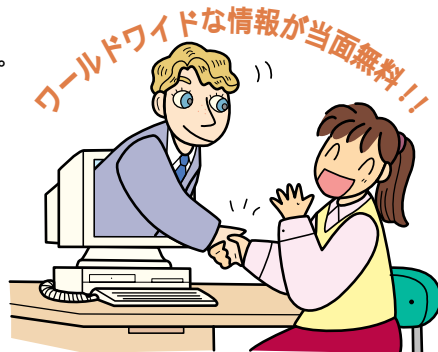
1999年度から提供している「コアデータベース」は、学部・研究科での教育・研究活動支援のため、WWWを介して利用できる学術情報データベースの新展開をめざすものです。これまでの有料での代行検索やCD-ROMによるデータベースの提供とともに、学習・研究支援の画期的前進となるものと考えています。

先に衣笠で実施した「コアデータベース講習会」には、延べ148人の熱心な受講があり、「私の探していたデータが見つかった!」「この国の最新の新聞が研究室で読める!」などと歓迎されました。

「当面无料」のエンドユーザー検索!!

従来、オンラインでのデータベース検索は、図書館員やサーチャーの強力なサポートを必要とするのが一般的でした。今日、GUIとインターネットの普及で、利用者自身が好みのキーワードやコンセプトを工夫しながらアクセスできるエンドユーザーによる情報検索が広がっています。

マウスをクリックしてキーワードを入れるだけ。ワールドワイドな数百のデータベースがあなたの机上にやってくる...WWWで提供する最大のメリットです。しかも、利用者のみなさんには当面无料で提供します。馴れるまで試行錯誤しても、使い込んで当面无料です。ますます研究・学習・仕事に活用しない手はありません。



あなたの研究・学習・仕事のスタイルも変わる?

例えばOCLCの書誌レコードは3600万件、所蔵情報は5億件といわれています。数百のデータベースを通じて、全文データを含む数千種の資料を瞬時につかめるようになりました。

世界各地の今日の新聞と今月の雑誌記事を電子ジャーナルで読む、学術論文に目を通し、類似テーマ・隣接領域の研究者の成果をチェックする。外国の判例を検討する。個別企業の諸データを入手する...あなたのキャンパスライフの視点が確実に広がる筈です。

まず興味あるキーワードを手がかりに、どれかを使い始めることが使いこなしの早道です。検索の方法は少しづつ違うものもありますが、AND検索やOR検索、文節の扱いなど、最低限のルールに馴れば十分です。どのデータベースを使うかの見当がつくようになればしめたものです。

学部生で直接利用できないデータベースがあれば、カウンターで相談してください。代行検索を含めて対応します。著作権など利用ルールも厳守しましょう。

● 提供している主なデータベース

* 印は事前に利用登録が必要。利用できるデータベースの詳細は総合情報センターのホームページを参照してください。

Swets外国雑誌コンテンツ	外国雑誌目次情報 キーワードで論文や掲載雑誌を検索できる	全 利 用 者
朝日新聞Digital News Archives	1985～朝日新聞全文記事【RAINBOW経由に限る】	
Elsevier Electronic Subscription	海外学術雑誌123タイトルが検索・閲覧できる	
日経テレコン21	日経四紙記事他企業情報【館内&就職部情報端末からに限る】	教 職 員 院 生
LEXIS-NEXIS Xchange	各国法令判例文献、新聞9000種、企業・財務情報、米特許明細等	
ProQuest *	人文社会科学分野を軸に全文DB	専任教職員 院 生
Dialog Select	300種のDBを厳選。学術雑誌(内4000点は全文)、新聞等	
OCLC FirstSearch *	World Cat(世界最大の書誌)、人文社会経済・新聞雑誌等60種	専任教職員
RUNNERS選書DB	新刊書籍情報【telnet-runnersからアクセス可能】	

INFORMATION

「新着情報」

『The History of the Art of Writing』

< Hooper & Jackson > 全4巻【衣笠図書館所蔵】

エジプト、バビロニアの碑文、マヤの銘刻、ホメロス詩の断片などを記したパピルス文書、中世彩色本から19世紀の文学者・思想家・科学者などの多種多様な自筆原稿などに至るまで、大英博物館の所蔵品を中心として、ヨーロッパ各地の図書館所蔵の200余種の文献(復刻版)が4つの大型ポートフォリオに収録されている。

『講座人間と環境』

< 昭和堂 > 全12巻【衣笠図書館・メディアライブラリー所蔵】

私たちの築いてきた文化が、実は自然のリズムを基盤に育まれてきたものであると同時に、私たちをとりかこむ自然がいろいろな意味で文化を投影したものであることを理解するのは大変重要です。このような視点にたつて、多様な生命が共存できる持続的な環境を模索していくことがこの講座のねらいです。

図書返却のお願い

2000年3月で卒業・修了される方は3月9日までに、有効期限が2000年3月31日のライブラリーカードをお持ちの方は3月30日までに貸出中の資料をすべて返却してください。

卒業・修了後の図書館利用について

卒業・修了後は校友として引き続き図書館を利用することができます。是非ご利用ください。カードの発行手続については、下記図書館のホームページまたは掲示板をご覧ください。

図書館利用者カードの更新について

単年度登録されている方は、2000年3月31日が有効期限です。4月以降の利用を希望される方は、更新手続を行なってください。手続は3月下旬からできます。詳しくは、下記図書館のホームページまたは掲示板をご覧ください。

春期休暇中の開館(開室)時間

開館時間及び利用方法の詳細は、各ホームページまたは掲示板をご覧ください。

図書館	http://www.ritsumei.ac.jp/www-lib/sogo/libindex.htm
修学館	http://www.ritsumei.ac.jp/www-lib/sogo/lib2.htm
メディアセンター	http://www.ritsumei.ac.jp/se/media-c/media_00.html
メディアライブラリー	http://www.ritsumei.ac.jp/se/media-c/bkl/bkl_00.html
RAINBOWオープンパソコンルーム(衣笠)	http://www.ritsumei.ac.jp/se/rainbow/kic_opr.html
RAINBOWオープン施設(BKC)	http://www.ritsumei.ac.jp/se/rainbow/bkc_opr.html

